

市民フォーラム「東広島の近未来を語ろう」（第4回）
シンポジウム：学生・留学生が地域で学んだ市の魅力と課題
—産業、文化・教育、過疎・過密—
(令和3年度広島大学マスターズ企画事業報告)

広大マスターズ会員 渡部和彦

「広大マスターズ T&G プロジェクト」の一環として、下記のシンポジウムが開催された。以下に概要を紹介する。この事業は、本年度から東広島市の補助事業として、新たに開始された。事業の詳細については、別途紹介する。

開催日時：2022年2月26日（土）1時30分～3時30分。

開催場所：広大ミライクリエ（2階・大会議室）

第1部：地域訪問活動の概要紹介（市内3地域：豊栄、安芸津、下見（西条）を訪問し、研修で得た地域の印象など、3グループ毎、自己紹介を兼ねて各自が紹介）。

第2部：地域の魅力と課題を語る（研修で得た3地域それぞれの魅力・課題など、母国（故郷）との比較で強く印象に残った文化、産業、歴史など）。

第3部：一般参加者含め、総合討論。学生1名は、マレーシア留学の為、オンライン参加。市のT&G担当者、住自協関係者、その他一般参加者から活発な発言あり。

*会場の参加者は、発表学生12名（留学生6名）、HM幹事4名、他1名、一般参加者10名。オンライン参加者HM約6名。報道関係：プレスネット社。

3グループ毎にスライド使用、全員で研修内容の報告。留学生は英語で発表（司会者通訳）。

コロナ対策に留意し、無事シンポジウムを終えることができた。